

チエコスロバキアにおける事態についての日本共産党の声明を支持する

一九六八年八月二十八日 日本民主青年同盟第四回中央委員会

ワルシャワ条約加盟国のなかの五ヶ国の軍隊が八月二十日夜、突如チエコスロバキア社会主義共和国の国境をこえて進入したことによって、きわめて深刻で憂慮すべき重大な事態がうまれました。このような事態にたいして、日本共産党中央委員会幹部会は八月二十四日、「チエコスロバキアにおける重大事態にたいして」の声明を発表しました。日本民主青年同盟中央委員会は、この日本共産党の声明を完全に支持し、そして五ヶ国の党とチエコスロバキアの党との兄弟的な協議によって、五ヶ国の軍隊のすみやかな撤退を実現し、兄弟党、社会主義国家のあいだの正常な関係を回復することを心から希望するものです。わが同盟は、マルクス・レーニン主義の原則にもとづく国際共産主義運動の団結をめざし、各国の党の自主、平等、内部問題への不干渉の原則をまもるための日本共産党の努力を断固支持し、日本の多くの青年ととともに、日本共産党の正しい声明を積極的に学び、いっそう団結をつよめるとともに、現在すすめている国際民主青年運動の団結のためたに力をこめて発展させるために奮闘していくものです。

チエコスロバキアにおける重大事態について

一九六八年八月二十四日 日本共産党中央委員会幹部会

ワルシャワ条約加盟国のなかの五ヶ国の軍隊は、八月二十日夜（日本時間八月二十一日早朝）突如、チエコスロバキア社会主義共和国の国境をこえて進入し、事実上の占領をおこなった。そして、その後の事態の進展は、きわめて深刻な憂慮すべき状態をつくりだしている。これらの国は、この行動を社会主義にたいする脅威をとりぞく目的でおこなわれたものと説明している。しかし、わが党は、これまであきらみかになつた事実にもとづき、これらの国の行動は、国際共産主義運動、社会主義陣営、反帝民主勢力の団結にとってきわめて重大な影響をもつものであると考える。チエコスロバキアには五ヶ国軍隊の進入当時、この五ヶ国をかくむ世界各国と兄弟党とがみとめていた、社会主義国家機関とそれを指導する共産党が存在し、活動していた。チエコスロバキアの最近の情勢は、わが党の第七回中央委員会総会決定が指摘しているように、従来の路線の再検討と新しい路線の設定をめぐって、対外盲従主義、事大主義を克服して自主独立の立場へむかおうとする努力がつけまるとともに、自由主義、分岐主義の傾向があらわれるなど複雑な経過をたどっている。また帝国主義の策謀もつらかった。

しかし、他の社会主義国が、かりにチエコスロバキアの一部の指導者たちの要請があつたとしても、チエコスロバキアの党の指導部や政府と協議せず、同意もえずに、軍隊を動かさず、事実上の占領状態をつくりだすというようなことは、独立、平等、相互の内部問題不干渉という社会主義国家間、兄弟党間の関係を律する原則からいって、絶対に同意できないものである。これは、国際共産主義運動、社会主義陣営の団結、アメリカ帝国主義のベトナム侵略に反対するすべての反帝勢力の国際統一行動の強化という今日の切実な課題にもそむく行動であり、社会主義の威信を大きく傷つけるものである。アメリカを先頭とする帝国主義勢力、内外の反動勢力、反共主義者、トロツキストなどは、社会主義体制と国際共産主義運動の中傷と破壊に人民をかりたてようとしてこの事態を利用し、大規模な反社会主義、反共宣伝に狂奔している。

われわれはもちろん、社会主義陣営に属しているいかなる国にたいする侵略をもゆるさず、帝国主義勢力、反革命勢力による社会主義勢力の転覆と破壊の策動にたいしては、全力をつくして闘争し、真のプロレタリア国際主義にもとづきその国の党と人民を断固として援助するものである。現にわが党は、ベトナム民主共和国にたいするアメリカ帝国主義の侵略を糾弾し、ベトナム人民への支援を強化するために奮闘している。

一九五六年に、ハンガリーにおいて、帝国主義の援助をうけた反革命分子が、党と国家の機関や指導者にたいするテロと暴動を公然と組織し、社会主義制度を解体しようとする重大な事態をつくりだしたときに、ソ連軍がカダル同志を首魁とする労働革命政府の要請に応じて社会主義ハンガリーを占めるために国際的援助をおこなった際、わが党はその援助に連帯の意思を表明した。しかしこれとチエコスロバキアにおける今回の事態とは、けつして同一視できないものであると考える。七月十九日付の日本共産党中央委員会の手エコスロバキア共産党中央委員会あての電報のなかのべたように、チエコスロバキアの問題は、マルクス・レーニン主義の諸原則にもとづいて、チエコスロバキアの党と人民自身によって解決されるべきものであり、いかなる党も他の兄弟党の内部問題に干渉する権利はもっていない。わが党は確信している。一九五七年の宣言と一九六〇年の声明が規定しているように兄弟党間の問題は、あくまで自主、平等、相互の内部問題不干渉の基準を厳守し、同志的な協議にもとづいて解決すべきものである。一面的な軍事的行動によって解決しようとすることは、宣言と声明の規定を一片の空論と化するものにほかならない。このような干渉は、なんら問題を解決せず、逆に矛盾と対立を激化させ、不团结と混乱を大きくするだけである。わが党は、チエコスロバキアの党と人民がたく固結し、現在の重大な事態をのりこえ、この事態につけこんで策謀を強化しているあらゆる社会主義の敵を粉砕し、西側の日和見主義とたまたまマルクス・レーニン主義の押しめし道を、前進することを心から期待するとともに、なによりまず、五カ国の政府と党がチエコスロバキアの内部問題に対する今回の不当な干渉をただちにとりやめ、その軍隊をすみやかに撤退させることを強く要請するものである。

私達はこれらの声明に導かれて次の二点を学友の皆さんに訴えます。オ一に、現在の国際情勢はベトナムを中心として展開されています。アメリカ帝国主義は、公然としてベトナム人民の解放を阻害するために全力をこめており、ベトナム人民が解放されるというこの資本主義と世界体制、アメリカの世界覇権に大きな変化、打撃を予え、全世界の反帝反植民地斗争と大きく動員するものであり、資本主義世界体制の全般的な崩壊を一手に加速させるものとして、全世界の解放斗争、革命斗争を一層急激に進展させるものです。私達の現在の国際的な中心任務はアメリカ帝国主義のベトナム侵略に反対する国際的統一行動、ベトナム人民の支援の斗いを進めていくことです。

オ二に、チエコ問題を利用した米日反動勢力の安保条約の延長強化の策動を断固粉砕せねばなりません。自民党の福田首相は、事件始末に、この事件は

わが党が当面している安保問題を考える上で重要な資料を提供したという声明を出し、アメリカ政府は、米日安保条約の無期延期と、軍事同盟強化の方向を出しています。これは今回の社会主義陣営内部の発展すべき事態を社会主義国が侵略してくるというに有利な強化をしようとする企図です。オ三に、今回の事件を利用した反共反社会主義攻撃を断固粉砕する必要があります。アメリカのベトナム侵略には積極的に関与している佐々木内閣はチエコ事件があつたやいなや、ソ連抗議の意を表明を行ない、社会主義国が侵略するとか、独立を守れとか発言しています。これは日本国民の手エコ国民に対する同情を最大限に利用した反共反社会主義の攻撃です。オ四に、今回の事件を機にソ連大使館への抗議やデモを右翼、自民党、民社党、公明党が行なう、たつとトロツキスト、修正主義者が方々なっています。また民主勢力の一翼である社会党なども行なっています。私たちはこのような社会主義国と帝国主義国を同列視し、アメリカ帝国主義を攻撃し、反共反社会主義の策動に利用されるような軽率な行動をきびしく批判するものです。